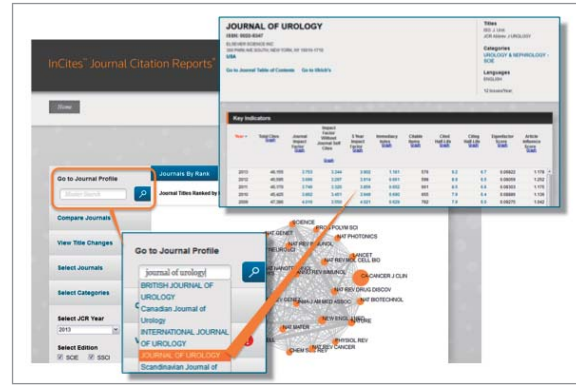


インパクトファクターの調べ方

ジャーナル名で検索する

1. Go to Journal Profile の検索窓に、探したいジャーナルのタイトルを入力します。
2. 入力を始めると候補が表示されますので、目的のジャーナル名をクリックします。
3. Journal Profile のページが表示されます。

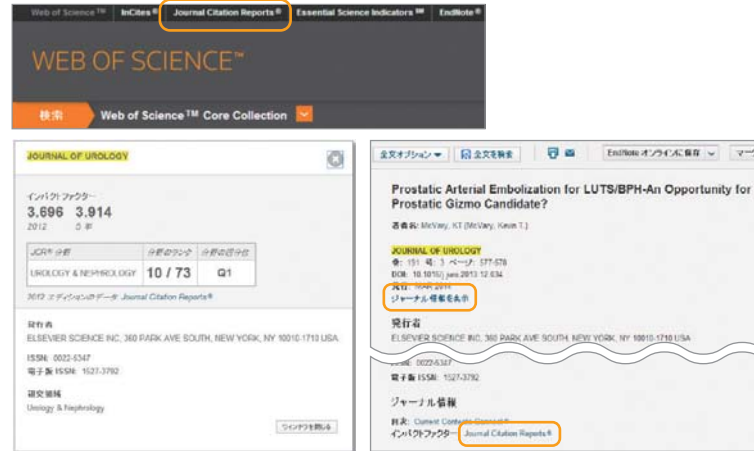


Journal Citation Reportsへのアクセス方法

1-1. Web of Science からアクセスする

- a. 画面上部の Journal Citation Reports へのリンクをクリック (JCR トップページへリンクします)
- b. フルレコードの画面から Journal Citation Reports のリンクをクリック (当該雑誌の Journal Profile ページにリンクします)
- c. 「ジャーナル情報を表示」リンクをクリックすると、JCR にログインせずにインパクトファクターを確認できます。

注意: Web of Science および Journal Citation Reports のご契約が必要です。
会議録にインパクトファクターはついていません。
タイトル変更や収録中止の雑誌にはインパクトファクターはついていません。



1-2. 直接 Journal Citation Reports にアクセスする URL: <http://about.jcr.incites.thomsonreuters.com/>

2. サインインページが表示されたら、Continue ボタンをクリックしてアクセス (IP アドレス認証の場合)



ジャーナル収録基準

トムソン・ロイター データベースで重要な役割を果たしているのが、世界各国から収集される学術雑誌で、その数は12,500誌以上(2014年12月現在)にもなります。各ジャーナルには、英語による著者抄録、著者名、発行者、著者の所属機関名、出版者住所、引用文献など、項目ごとの詳細な索引が付けられています。

トムソン・ロイターの目的は、ジャーナル購読者の現在の問題意識と適時的な情報検索ニーズに対応するために、世界で最も重要でかつ影響力の高いジャーナルを包括的に収録することです。ただし、ここでいう「包括的」というのは、必ずしも「すべてを網羅する」という意味ではありません。
(<http://ip-science.thomsonreuters.jp/mjl/criteria/>)

- ジャーナルセレクションプロセス <http://ip-science.thomsonreuters.jp/mjl/selection/>
- マスタージャーナルリスト

インパクトファクターの調べ方



インパクトファクターは、自然科学 176 分野 8,500 誌以上、社会科学 56 分野 3,000 誌以上の Web of Science Core Collection 収録の雑誌を対象にした評価指標の一つです。この評価指標は、トムソン・ロイターが提供する Journal Citation Reports (JCR) にて提供され、毎年初夏に前年のインパクトファクター値が出版されます。インパクトファクター以外にも各種指標を提供し、世界の主要学術雑誌を客観的に評価することができます。*

(*ご契約が必要)

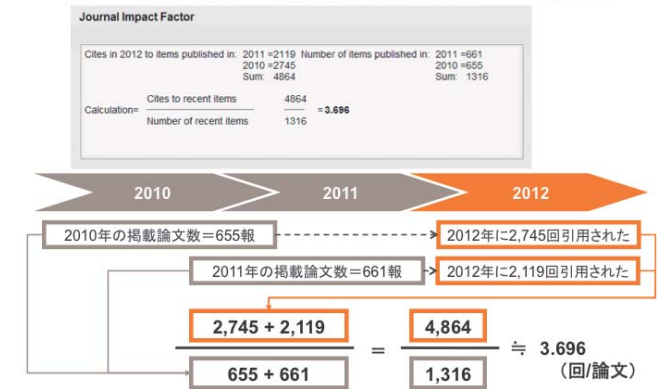
アクセスは、<http://about.jcr.incites.thomsonreuters.com>

サポートは、<http://ip-science.thomsonreuters.jp/products/jcr/support/> もしくは、**インパクトファクター サポート** **検索** と検索してください。
収録誌リストは、<http://ip-science.thomsonreuters.jp/mjl/> 自然科学は、[Science Citation Index® Expanded](#) (Web of Science)

インパクトファクターの計算方法

インパクトファクターは、引用された数 ÷ 論文数で求められます。特定の期間において、ある雑誌に掲載された論文が平均的にどれくらい頻りに引用されているかを示す尺度で、雑誌の影響 (インパクト) を表す指標の一つです。同分野の他の雑誌と、その影響を相対的に比較できます。対象年の前2年間に出版されたある雑誌の論文が、対象年の雑誌に引用された回数を計算します。グレーの部分が分母 (2年間の論文数) で、オレンジの部分が分子 (対象年に引用された回数) です。

インパクトファクターの計算方法 (対象年=2012年)



インパクトファクターの推移 (Impact Factor Trend Graph)

インパクトファクターは毎年更新されているので、学術雑誌の影響力の推移を確認できます。JCRでは、5年間のトレンドグラフを表示できます。同時に、過去5年間のインパクトファクター値も確認できます。表示の方法は、2、3ページ参照。



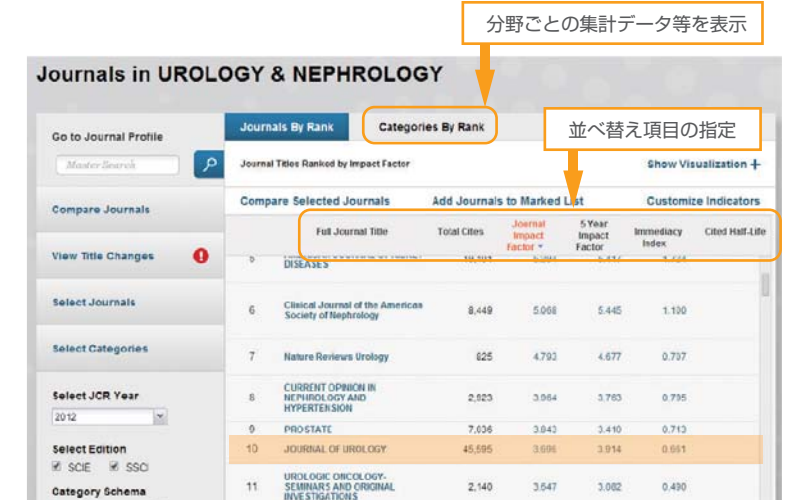
インパクトファクター値で比較する

JCRでは、雑誌を分野ごとに、いろいろな指標で比較することができます。2012年版では、Journal of Urology 誌は、UROLOGY & NEPHROLOGY 分野の73誌中、10位だといことが分かります。

その他の比較

- Total Cites: どれだけ多く引用されているか
- 5-Year Impact Factor: 5年分の論文で比較
- Immediacy Index: どれくらい早く引用されるか
- Cited half-life: どれだけ長く引用され続けるか
- Eigen Factor: 影響力の強い雑誌に引用されているか
- Article Influence: 個々の文献の平均的な影響度
- 分野平均値との比較: 平均値との比較

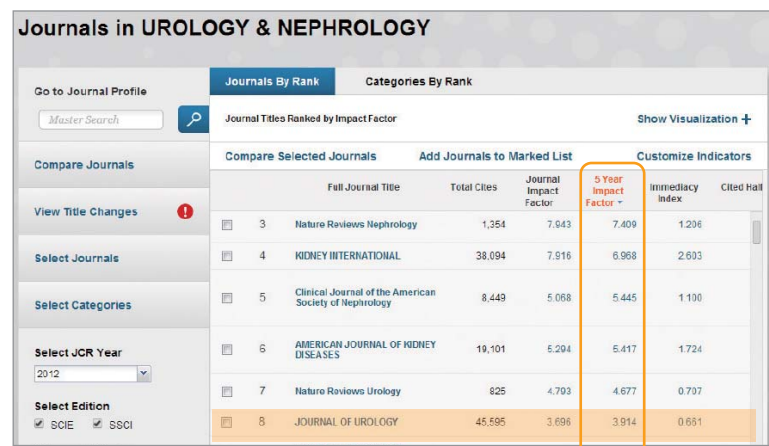
表示の方法は、2、3ページ参照。



5年インパクトファクターで比較する

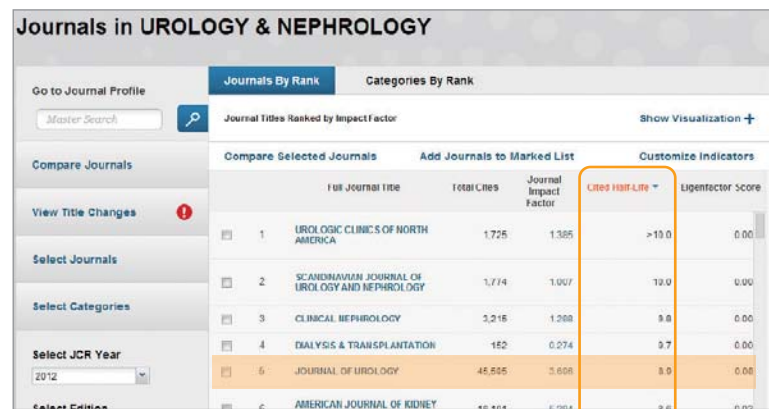
【5年インパクトファクターで比較する】

インパクトファクターは、直前の過去2年間の論文(2012年版では、2011年と2010年の論文)が引用された回数をもとに計算していますが、さらに遡って(2011-2007年)の5年間の論文で計算した数字が5年インパクトファクターになります。UROLOGY & NEPHROLOGYの様に比較的時間がかかって引用される分野の場合、影響度は5年インパクトファクターで見る必要があるかもしれません。Journal of Urology誌は、73誌中、8位となりました。



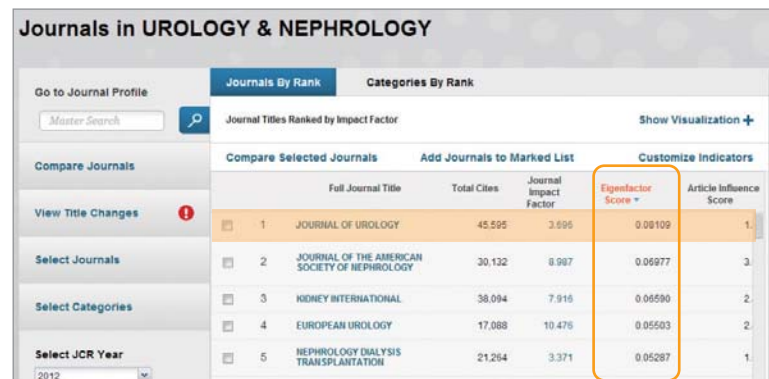
Cited Half-Lifeで比較する

雑誌に掲載された論文がどれだけ長く引用され続けるかを見る指標です。Journal of Urology誌は、73誌中、5位となりました。Cited Half-Life 8.9とあるのは、2012年に引用された同誌の論文の内、直近8.9年内のものが50%を占める、ということを示します。



EigenFactor® (アイゲンファクター) で比較する

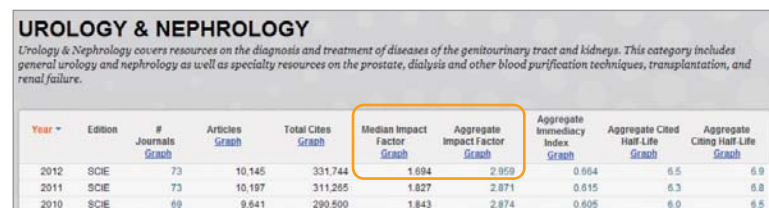
インパクトファクターの計算では、どの雑誌からの引用回数も等しく計算するのに対し、Cell やNatureなどの総被引用数の多い雑誌からの引用を、被引用数の少ない雑誌からの引用に対して重みづけをして評価するのが、アイゲンファクターです。Journal of Urology誌は、73誌中、1位となりました。



分野平均値と比較する

Journal of Urologyの2012年のインパクトファクター値は3.696ですが、これはどのような意味を持つのでしょうか? Category Profileで分野平均値と比較できます。Median Impact Factorは、Urology & Nephrology 73誌中、中央値(37番目)が1.694という意味です。従って3.696は、上位50%以内の高さを示しています。

Median Impact Factor: 分野の雑誌をインパクトファクター順に並べ、中央に位置する雑誌のインパクトファクター
Aggregate Impact Factor: 分野の全て被引用回数を、全ての論文数で計算したインパクトファクター(Median Impact Factorと差がある場合、インパクトファクターの分布が偏っていることを示しています。)



各雑誌の詳細情報

雑誌のタイトルをクリックすると、詳細情報が表示されます。

【雑誌情報】

雑誌正式名、省略形、ISSN番号、発行頻度、言語、発行国、出版社、分野等。分野名にカーソルを合わせると、分野の概要説明が表示されます。

【Key Indicators】

インパクトファクター、5年インパクトファクター、Cited Half-Life、Eigenfactor等の主要指標を一覧で見えます。各数値をクリックすると、その根拠となるデータが表示されます。

▶その他の各種指標

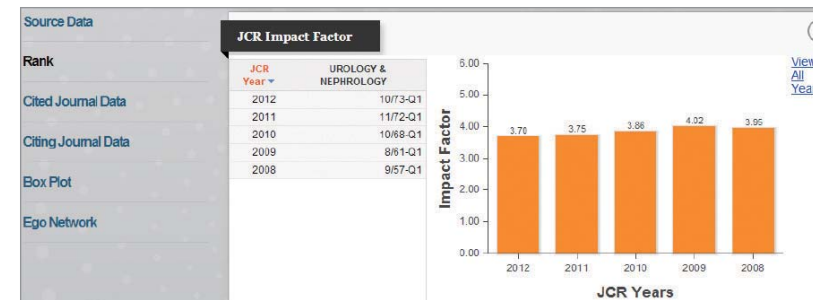
- **Impact Factor Without Journal Self Cites:** 自誌引用分を除いて計算したインパクトファクター。JCR収録誌の80%は、自誌引用比率が20%以下となっています。
- **Immediacy Index:** 雑誌に掲載された論文がどれくらい早く引用されるかを示す指標です。

【Source Data】

インパクトファクターの計算に使われる分母は、ArticlesとReviewsの合計です。Reviewsの割合が大きいと、インパクトファクター値は一般に高くなります。

【Rank】

同じ分野の中で、インパクトファクターのランキングが全体のどれくらいの割合に入るかを示しています。(Q1 = 上位25%、Q2 = 上位26-50%、Q3 = 上位51-75%、Q4 = 上位76-100%)



Cited Journal Data で引用の傾向を把握する

ある雑誌が当該年に引用された数を、引用を受けた論文の発行年ごとに集計したデータです。例では、2012年に引用されたJournal of Urologyの論文の発行年別推移が示されています。

一番左の2012年はグラフ中最も低い数字(395回)になっていますが、これは引用される期間が短いからです。ピークは2008年で、この年に発行された論文は3,293回引用されています。

■ (くすんだオレンジ色)がインパクトファクターの計算範囲です。5年インパクトファクターでは、2011年から2007年までの5年間に発行されたJournal of Urologyの論文が対象となります。

■ (黄色)が自誌引用です。

■ (灰色)の陰で分けられた左側がCited Half-Lifeを表しています。

